

トセス依テ令般審議、上其勘定帳ヲ更メ決算帳ト
ナシ現行定式ニ參照シテ決算帳書式編成スルニ付
テハ本年度ヨリ施行致シ度石公達、上ハ從來、檢
査証決算證書ヲ廢シ更ニ一周年度計算完結ニ至リ
決算認可狀交附致スヘクト思考セリ則公達案及編成
順序相添且大藏省ニ於テ主管スル國稅并國庫出納其他
作業費決算程式、儀ハ不日調査、上經伺マヘシト

御達案

官省院使局府縣

各廳經費及雜收入決算帳書式別冊、通相定候條
左、順序ニ遵ヒ編成可致此旨相達候事

但本年ヨリ施行候儀ト可相心得事

本件八月十日第四拾号ヲ以テ相達セラレ故
ニ別冊全文ヲ掲ケス

部議本件ハ該院事務章程并ニ檢査條例未々達セラレ

スト雖モ嘗テ第拾八号達ヲ以テ定メラレタル該院
事務取扱、個條中決算ノ項ニ關シ且書式、ミ、事
ニ付聽許セラレ然ルヘシト左案ヲ附シ上陳ス

御達案

呈草ノ通り

會計檢査院へ通牒

第五八號

明治廿九年八月十七日受領
八月十七日發可

開拓使出納、實況視察トシテ檢査官特派ノ稟議
會計檢査院幹事稟議ニ曰開拓使定額、儀ハ明治四年
八月令達、趣モ有之令五年一月ヨリ十年ヲ以テ
一期トシ國庫支出金壹千万兩及ヒ該使諸稅ヲ初メ
一切ノ收入ヲ交付シ併セテ令般ノ費途ニ充用スル

ヲ許シ他廳ニ無之一種ノ特例ヲ附與セラレ隨テ從
來會計檢査ノ如キモ亦特別ヲ以テ該使東京出張所
ヲ本廳一看做シ檢査官此ニ派遣シ其出納諸帳簿檢
査致シ來リシ儀ニ有之然ルニ該定額年限ナル已ニ
來十四年度ノ半ニ於テ終尾ニ歸セントス就テハ該
十年間ノ會計ヲ明瞭ナラシムルノ肝要ナル令ヨリ
注意セザルヲ得ス故ニ豫メ實地ニ就キ備付ニ之カ
調査ヲ加ハ諸事整理方等親シク協議ヲ遂ケサレハ
他日該計算ヲ結了スルノ際ニ臨ミ遷ニ其速成ヲ欲
スルモ勢必ス得ヘカラス且夫レ會計上將來施設ノ
目途ヲ定メンニハ須ク先ツ從事實踐スル所ヲ詳
査シ因テ其處辨ヲ為スヘキナリ然ルニ該使ハ他ノ
官廳ニ異ナリテ勸業開墾等ヲ初メ警察土木屯田聽

訟等ノ事ニ至ルマテ一トシテ其管理ナラサル者ナ
シ故ニ度支ノ煩多ナル事項ノ駁雜ナルハ固ヨリ辨
ヲ待タズ其出納ノ實況ニ至テモ亦之ヲ審明スルニ
由ナシ而シテ東京出張所ニ於テモ之カ調査ヲ為ス
カ如キハ煩ル隔靴ノ憾ナシトセス令ヤ期約滿限ニ
迫リ前陳ノ如キニ就テハ此際先ツ檢査官ヲ該使ニ
派遣シ從來舉行セシ實蹟、如何ヲ視察シ併テ將來
會計ノ羸縮ニ関シ制定セラル、ニ當リテモ亦裨益
少ナカラス旁檢査官派遣ノ儀ハ今日ノ急務ト思考
セリ依テ左案ノ通同使ヘ達セラレタシト

御達案
開拓使

其使出納ノ實況視察トシテ檢査官ヲシテ本支廳
へ派遣セシメ候條此旨相達候事

但委細、儀ハ検査官ヨリ可申談事

部議開拓使出納、實況視察トシテ検査官特派、儀ハ
聽許セラレ然ルハシト左案ヲ附シ上陳ス

御指令案

伺、趣聞届候事

御達案

開拓使

呈草、通

第二 外務省之部

第五四號 七月三日受領
八月十四日稟申

○神戸港ニ在ル大蔵省所有地所土蔵買上代價別途下
附ヲ乞フ、稟議

外務卿稟議ニ曰兵庫縣下神戸港榮町ニ在ル大蔵省所

有、地所建家外國貴賓來遊等ノ蒞旅館トシテ當省
へ購入ノ儀去十二年十月中稟申シ許可、上目今當
省ニ於テ所轄セシ處同地往還ヲ碍タル所ニ從來本
館附屬ノ土蔵有之右ハ最前本館ト共ニ購求、儀上
申可致、處脱漏セシニ付更ニ大蔵省へ讓受ノ儀協
議ニ及ヒシニ差支無之旨回答アリト雖氏何分當省
常費中支出ノ餘金無之右ハ先般米國前大統領グラ
ンド氏及獨逸皇孫殿下接待ニ付同縣へ新調セシ洋
室裝飾、什器悉皆前書旅館へ備付有之然ル片ハ蓄
藏ニ必用ノ倉庫ニ付金貳千九百五拾八圓四拾錢購
求代トシテ別途下附セラレタケ許可セラレ、上ハ
地所ハ當省用地トシテ引渡スヘキ様内務省へ達セ
ラレタシト